

の現地視察に来所いたしました。

- ・平成29年11月30日にインドネシア共和国北スマトラ州知事を代表とした視察団10名が、浅間山火山噴火緊急減災対策事業について、現場視察に来所されました。インドネシア共和国北スマトラ州関係者の視察は今年2回目となります。
- ・視察目的は、防災先進国の日本から現場の知識を学ぶため、本視察で得られたノウハウを地域インフラ計画に反映し、災害に強い地域を目指すものとしており、自国のシナブン山が噴火活動が活発でその防災対策の参考として、浅間山火山噴火緊急減災対策事業のソフト対策（事務所）とハード対策（現場）の現地視察でお見えになりました。



浅間山火山噴火緊急減災対策事業のハード対策・ソフト対策の説明

事務所災害対策室において、事業概要（浅間山の歴史、事業計画、事業内容）、ハード対策（基本対策施設・緊急対策施設）、ソフト対策（監視カメラ、関係機関の調査、観測体制）について説明を行い、数多くの質問を頂きました。



北スマトラ州知事（中央右）を含むみなさんと職員で記念撮影

の現地視察に来所いたしました。

NTT DOCOMO 8:14

NTT DOCOMO 8:17

Home / Warta / Mancanegara / Tengku Erry Bersama 4 Kepala Daerah di Sumut Studi Kebencanaan ke Jepang

Kamis, 30 November 2017 19:09 WIB

Tengku Erry Bersama 4 Kepala Daerah di Sumut Studi Kebencanaan di Jepang

Penulis: RLS



JEPANG-Gubernur Sumatera Utara (Gubsu) Tengku Erry Nuradi melakukan kunjungan kerja (kunker) tentang studi kebencanaan di Gunung Asama Volcano, Jepang, Kamis (30/11/2017).



WOL Photo/Ist

TENGKU ERRY BERSAMA 4 KEPALA DAERAH DI SUMUT STUDI KEBENCANAAN KE JEPANG

15 hours ago Mancanegara, Sumut, Warta 0 Komentor

HONSHU, WOL - Gubernur Sumatera Utara (Gubsu) Tengku Erry Nuradi melakukan kuniungan kerja



濁沢第二砂防堰堤工事現場（ハード対策）



砂塚ストックヤード（ブロック備蓄）

インドネシアの新聞に掲載されました。WEB版です。

現場視察では、濁沢第二砂防堰堤工事及び片蓋川第二砂防堰堤、コンクリートブロックを備蓄している砂塚ストックヤードで工事の説明を行いましたが、17時を回った日暮れで暗く寒いなか現場視察をして頂きました。